

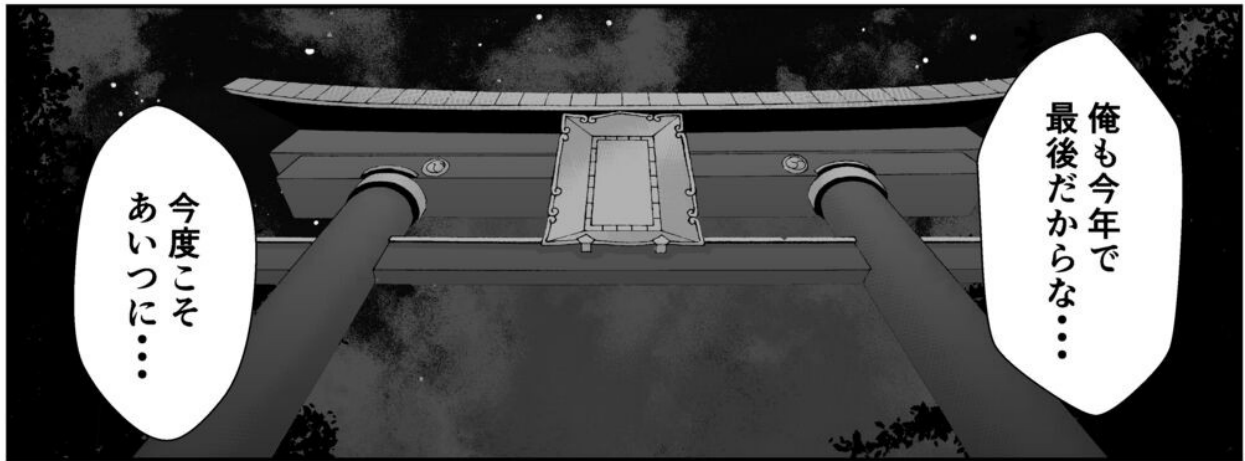
最
後
の
祭
囃
子

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



うーむ...





体型が違いすぎるだろ……!!



こいつとは歳も変わらねえのに……



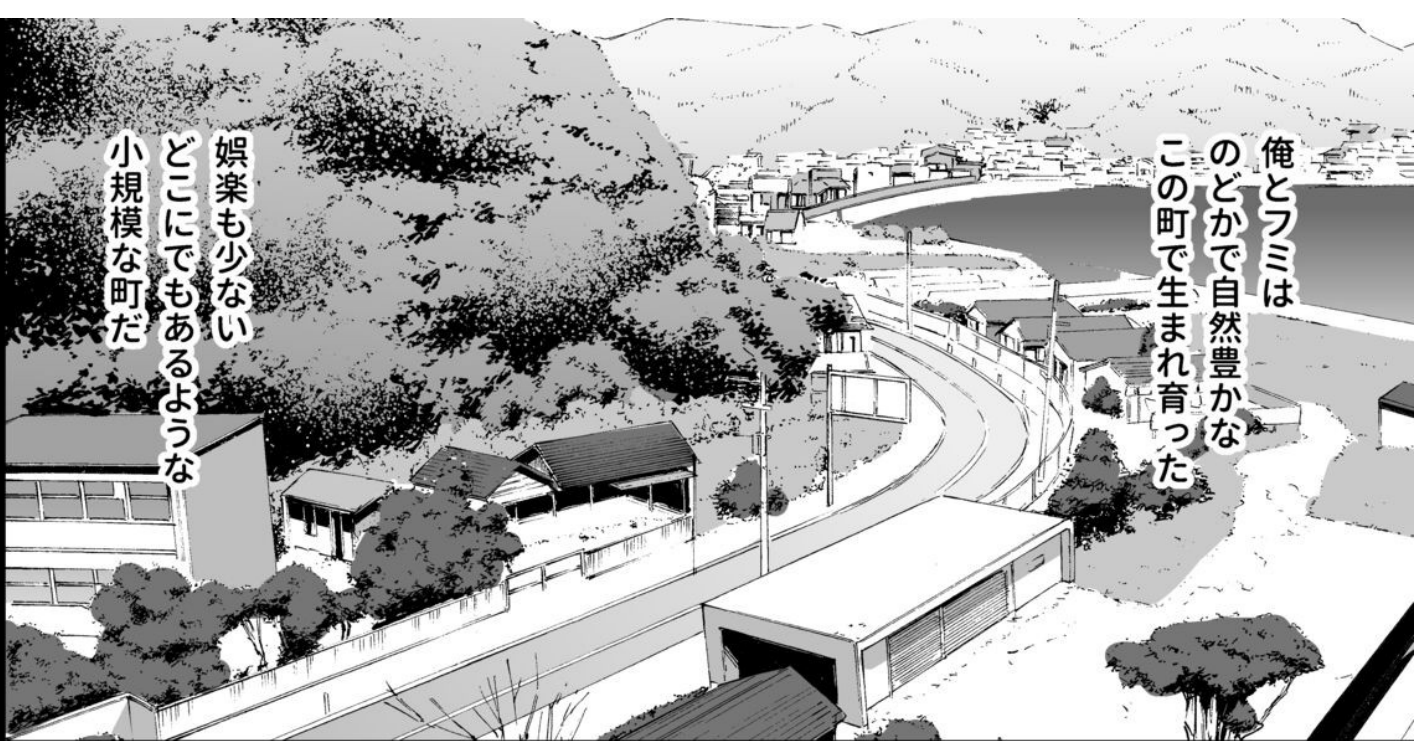
コタと組むのも12年ぶりだな

そうだな……



……いつ帰って来たんだ?

一昨日の夜
こっちに着いた



俺とフミは
のどかで自然豊かな
この町で生まれ育った

娯楽も少ない
どこにでもあるような
小規模な町だ



俺たち幼なじみは
性格や好みは
全然違うものの

子供の頃から
高校までいつも
一緒だった



親父の体調が
すぐれない事も
あったが

親しまれてきた
この店を
守りたかったのだ



高校を卒業後
俺は進学せず
実家で営む居酒屋を
継ぐことにした



フミは仕事帰りに
よく店に来てくれ
お互い、些細な世間話で
盛り上がった



成績優秀だったフミは、
都市部の大学へ進学し
卒業後、大手企業へ就職した



しかし、25年前…
祭事の「役目」として
「掟」をきっかけに

俺はフミに対し
過ちを犯して
しまったのだ



大人になってから
自覚したが…
おそらく子供の頃から
俺はフミに対して
恋愛感情を抱いていた



だが、俺はこの関係が
壊れる事を恐れ
想いを胸に秘めていた

このままでいいと
自分に言い聞かせながら



宮神社
 忘の祭りに限られた
 「風習」が今の俺たちに
 大きく関係している

俺たちの町では毎年
 年始の行事として
 裸祭りが開催され



東京の本社へ異動となり
 俺たちが会う機会も年に
 数回となった……

その後、フミは
 会社での成績を評価され



コタは去年
 「年男」だったろ？

ああ、去年から
 牛川のせがれが
 相手だった

初めてな上に
 荒すぎて終わった
 後も大変だった

年始から災難
 だったな……



フミ……



俺たちが
 組むのもこれで
 最後なんだな



祭りが終われば
「役目」も終わる…

今度こそ
伝えねえと



お手柔らかに
頼むよ

それじゃ
後でな



男衆は祭事前に
「水垢離」で体を清めるが
これがかなり辛い

祭りそのものは
他所とほとんど
変わらないだろう



その後はふんどし姿で
大しめ縄や供物を担いで
町内を練り歩き
無病息災を祈願する

やべっ…!
ふんどしが
透けてきた

土地の神へ五穀豊穡と
無病息災を祈願する



しかしこの町の
裸祭りが他所と
二線を画するのが

この後に行われる
祭事であるう



真夜中の零時
祭事は昔から
女人禁制とされ
関係者のみが
神社の拝殿に
集まり

「祭囃子」と呼ばれる
土地神へ対する最大の
催しが始まる

最後の祭囃子・序





男同士でまぐわう
というものだ

これこそが
土地神への
最大にして最高の
祈願らしい

祭事は古くより
代々、関係のある者へと
受け継がれてきた

「役目」を担う者は
必ず祭事の「掟」に
従わなければならない



しかし、その「掟」が
俺を長年に渡り
縛り続けている

俺たちのまぐわいも
12年ぶりにして
今回で3回目だ



長さじゃお前に
負けてるけどな

コタのちんぽ
相変わらず
ぶっといな

「破」へつづく

最後の祭囃子。破



「祭囃子」における掟

- 一、「祭囃子」は「役目」を担う者のみで行う
- 一、「役目」はその家系の跡継ぎが齢二十四から務める
- 一、「役目」は齢四十八まで全うする
- 一、「役目」の者が没するもしくは跡継ぎがない場合
同じ種族で別の家系の者がその「役目」を担うものとする
- 一、その年の干支にあたる「役目」の者が「年男」となる
- 一、産土神から授かる力を宿すのは「年男」一人のみである
- 一、「役目」を担う者同士の親密な間柄とまぐわいを禁ずる
- 一、「掟」を破ればその地に災いが起こる
- 一、「掟」を破った者はその地から去らなければならない
- 一、「祭囃子」は女人禁制とする



「年男」の子種には
土地神の力が
宿ると言われる

しかし、その力を
持てる者は一人
のみとされ



力は一人に
留まると
その地に
災いが起こるとも
言われている



それじゃ
始めようか



久しぶりで
何だかすごい
興奮するな

そのため
毎年、千支にあたる
「年男」が
前の「年男」から

あ、ああ……

「子種」を引き継ぐ事が
この祭りの本質なのだ



それじゃ
こっちも...

そして、俺を
縛り続ける「掟」
それは...



「年男」同士が
祭り以外で恋仲に
なりまぐわう事を
禁ずるといふもの

れっっ
んっ♡
れっっ

この「掟」こそが
25年前に犯した過ちと
フミに自分の想いを
未だに伝えられずに
いる元凶なのだ



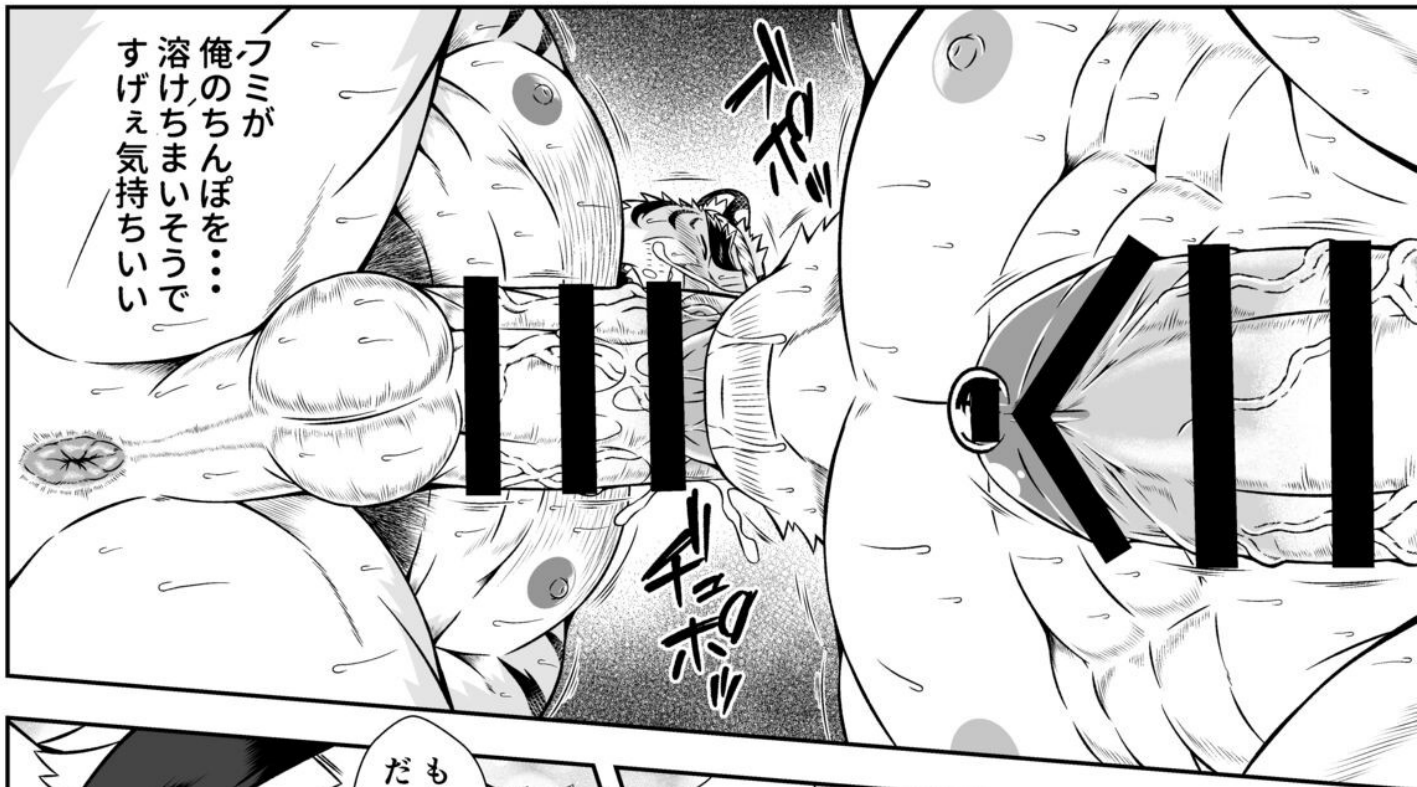


お、おい！
そんなに皮
引っぱんなよ

ドキ
ドキ

悪い悪い

グッ
グッ



フミが
俺のちんぽを…
溶けちまいそう
で
すげえ気持ちいい

グッ

キョッ



もうイきそう
だったか？

フ、フミっ！
ちよ、ちよっと
待てっ！

グッ

グッ

グッ
グッ

グッ



コタ…どうだ？
俺のちんぽの味は

ああ…
12年ぶりにしゃぶる
フミのちんぽ…
すげーうまい

ちんぽ

しゃぶ



お前ばっか
ずりーぞ



すまん

それじゃ
俺のも頼む



おう

ちんぽ



あっ…
コタの舌

すごく
気持ちいいよ

しゃぶれば
しゃぶるほど
身体が熱くなる…



ぶるん

はあ
はあ



フミ…
横に転がれ

あ、ああ…



うう…
ケツ穴も疼いてきて
もう我慢できねえ!

カカッ

グググ



コタ...
だ、大丈夫か?

んぐっ!
大丈夫だ...

それじゃ
挿入れるぞ...



フミのちんぽ・・・
長すぎて根元まで
上手く挿入らねえ



コタ・・・身体を
反対に向けるか？

お、おう



こ、これで
いいか？

ほっけ
ほっけ

相変わらず
デカくていい尻
してるな



この体勢なら...

ふ、フミッ!
ふ...深すぎ...
ひぐっ!

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

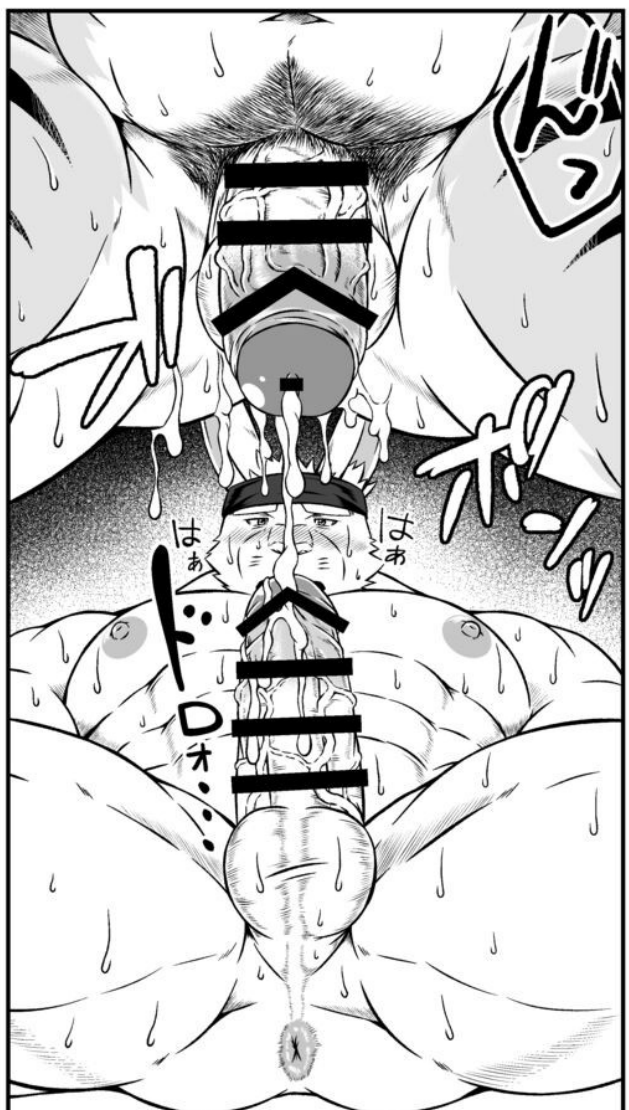
クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ





お、おう

コタ…
大丈夫か？

はあ
はあ

うう…すげえ…
ケツの奥がまだ
ジンジンしちまう



それじゃ
今度は…

コタが俺に
挿入れる番だな

ムッ
ふっ

「急」へつづく

最後の祭囃子・急



登場人物



ひむら ことろう
日村 琥太郎

48歳 虎獣人

愛称 コタ。

糸目とがっしりした固太り体型が特徴。実家の居酒屋「酒処 虎」を切り盛りしている。仕事熱心だが、仕入れする酒の吟味や料理の考案・味見が太る原因となり、加齢と共に体型に影響してきている。

幼なじみの文兎に対しては、昔から片思いでいるが口下手で奥手な性格から、想いを伝えられずにいる上、何かと自分と比較しがちで彼に対して強いコンプレックスを抱えている。

日村家は長年、「祭囃子」において寅の「役目」を担っており、彼も祭事の「役目」と「掟」に従うがその「掟」が原因となって、文兎に犯した昔の過ちをいまだに引きずっている。

性欲が人一倍強く、酒の空き瓶等太めの物を使って自慰行為をする癖があり、その影響から穴が使い込まれたかのように、少し膨らみつつ縦割れ気味になっている。



もちづき ふみ と
望月 文兎

47歳 兎獣人



愛称 フミ。

整った顔立ちと引き締まった身体が特徴的。琥太郎の幼なじみかつ意中の相手。

誕生日が2月と早生まれなので、琥太郎とは高校まで同学年にあたる。

大学まで進学し、地元の都市部にある大手企業に就職したが、優秀な仕事ぶりを認められ、20代のうちに東京の本社に転勤する。

温厚で人懐っこい性格であり、子供の頃から成績優秀かつ誰からも好かれる人柄な為、琥太郎からは度々、人たらしと言われる。

実家は大きな農家であり、琥太郎の店に出される料理の野菜は全て望月家から仕入れている。

望月家は長年、「祭囃子」において卯の「役目」を担っており、その為、東京に転勤してからも祭事の際には帰省し参加している。

しかし、本当の参加理由は別にあった…。

性欲は兎獣人の本能で割と強めである。



始まる前に
少しほぐしたから
大丈夫だ

フミ...ケツ
慣らさなくて
いいのかよ?

わかった

ぬ?
...

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ



んっ...
ゆっくりな

それじゃ
挿れるぞ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



うっ、すげっ…
フミン中、熱くて
ウネって絡みつくっ

うあっ、コタッ!
ま、待っ…太いっ
あっ…キツいっ!



うっ…
ケツの中が
締まるっ!

あっ、ひ、ぐううっ!
は、激しっ…んあっ!!

グキョッ

グキョッ

ハッ

んあっ
ハッ

ハッ



悪い…腰が
止まんねえ

ああ…コタっ!
そ、そこはヤバ…
がっ…うああ!!

グキョッ

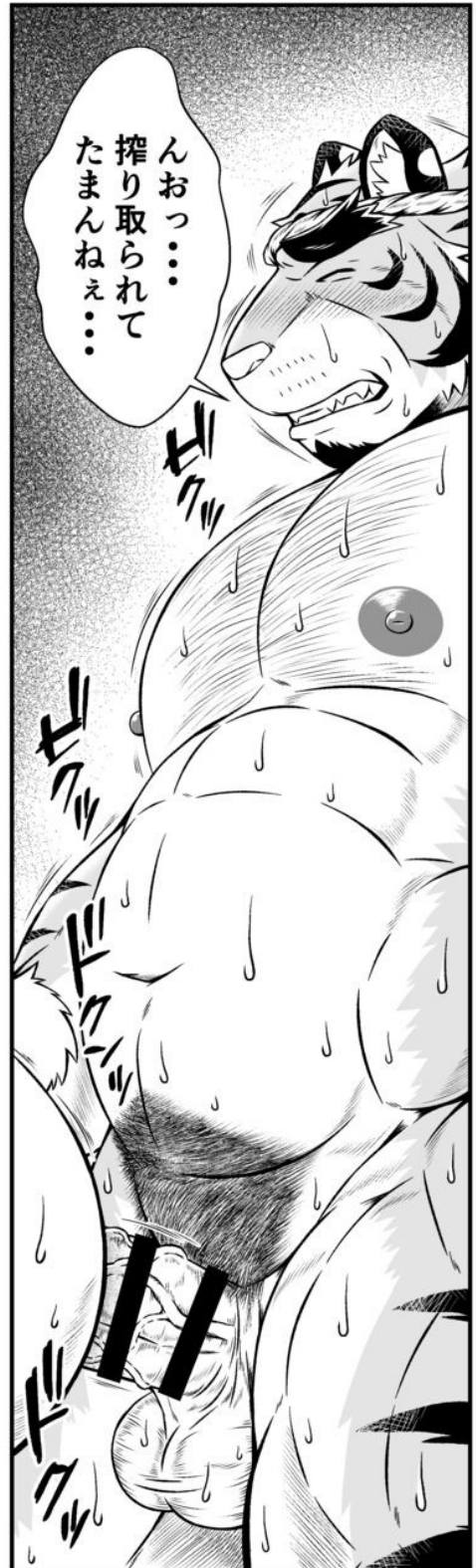
グキョッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ













男衆も皆、自身の
熱い子種を2人の
「年男」めがけて
盛大にぶっかける

これが土地神に
対する感謝の表れ
であり、これを
以って「祭囃子」は
終了となる



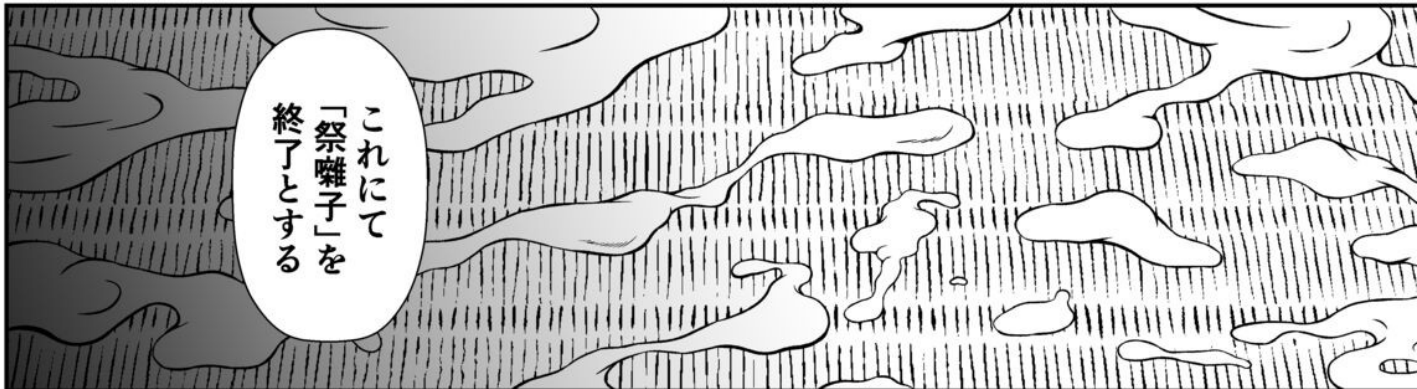
…もう
金玉の中
空っぽだ

俺も…

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡



これにて
「祭囃子」を
終了とする



牛川も次は
出来るように
なるさ

お二人とも
すごすぎて勉強に
なりました

あいつら
風呂長すぎ
ないか？

外も中もドロドロで
落とすのに時間
かかってるんだろ

「完結編」へつづく

A detailed illustration of two muscular anthropomorphic animals in a night-time shrine setting. On the left is a white rabbit with large ears, wearing a red headband and a red cloth around his waist. On the right is a tiger with orange and black stripes, also wearing a red cloth around his waist. Both characters are sweating and have intense, determined expressions. The background features a traditional Japanese torii gate and a building with a lit window. The overall style is reminiscent of anime or manga art.

最後力祭雜子

完結編



けもケット13用サークルカット



最後の「祭囃子」も
終わって「役目」と「掟」
からも解放された
けど、フミに
何も伝えずに俺は
ここで一体
何してんだ？

いや、本当は
わかっていたんだ
「祭囃子」を理由に
俺はフミから
拒絶されるかもしれない
現実から逃げていたんだ

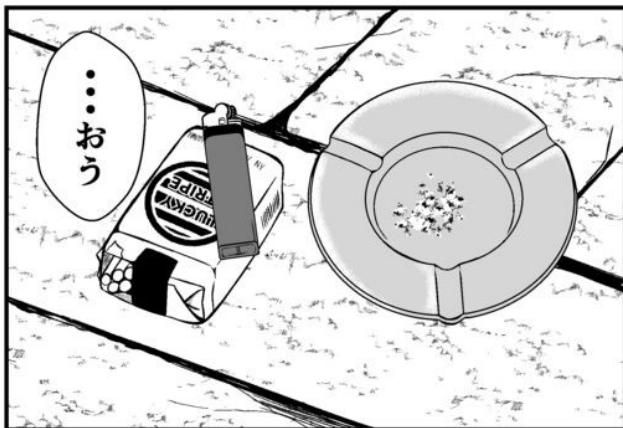
我ながらヘタレ
すぎて情けなくなる



ここに
いたのか



もう少しで
あいつはまた
東京に帰っちゃう
だったらせめて
あの日の事を
心から謝りたい…









親父たちも
もう歳だし...

実家の農業も
継がないと
いけないからな

そうか...



お前が帰れば
親父さんたちも
一安心だな



.....までが
建前の理由だ

俺、コタに
どうしても
言いたかった
事があるんだ

な、何だよ
急に...



俺……
コタの事が
好きだ



友達じゃなく
恋愛の意味で……



子供の頃から
ずっとコタの事が
好きだった

本当はもっと早く
俺の気持ちをコタに
伝えたかった……

でも、俺たちは
「祭囃子」の「掟」に
従うしかなかった

「掟」を破れば
この町にはきつと
いられなくなる



だから……
ずっとこの日を
待っていた

コタが最後の
「祭囃子」を終える
この日を



ちょっと待て！
じゃあ25年前

俺がお前と
初めてした
あの日は……

あの時は
俺も経験が
無かったし

突然すぎて
正直、驚いたさ

でも、俺の初めての
相手がコタで本当に
嬉しかったよ……

フミっ！
俺：・初めての
相手が牛川の
親父となんて
イヤだ：・



俺の初めては
フミがいい



コタ：・

だから：・
「祭囃子」の前なら
せめてお前と

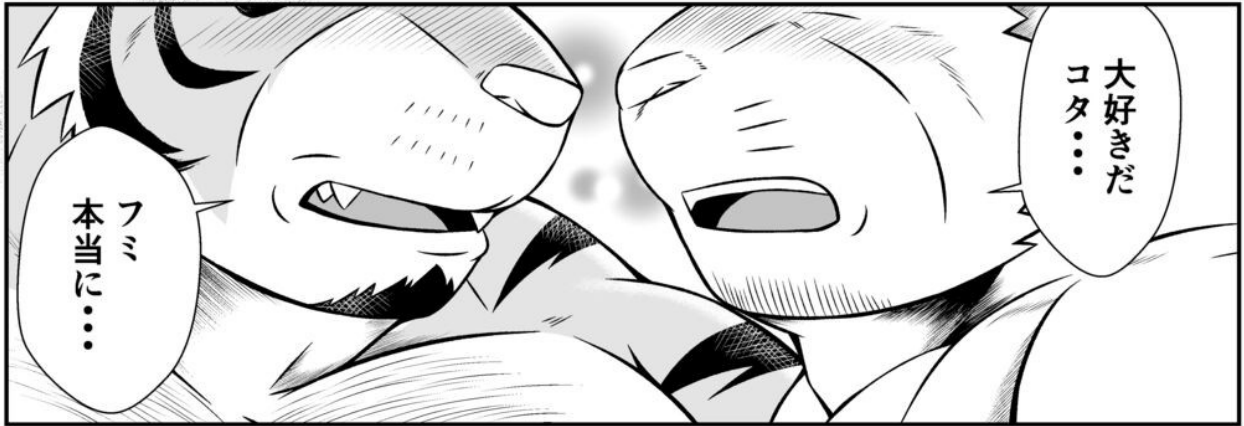


あの日の事が
忘れられないまま
俺も「掟」に従い
続けてきた：・

いつか必ず、コタに
俺の想いを伝える日が
来る事を信じて







大好きだ
コタ……

フミ
本当に……



俺なんかで
いいのか？

何だよ
今さら

だってよ……俺
お前と違って
こんな身体だし

目も細くて
ちんぽも皮
被ってるし



これからも
変わらないさ



フミ……



全部
大好きだ！

俺には無い
魅力がコタには
たくさんある

40年間ずっと
この気持ちは
変わらなかった

キ
ユツ……



俺も……
愛してる

コタ……
愛してる



あ



この後、もう
一回どうだ？

祭りは終わったが
俺たちの夜はまだ
終わりそうにない……

おう……



ラブ♡

ラブ♡

